

基本調査 基本調査 解析方法 行動パターン調査と線量率マップ

行動パターン調査

福島県県民健康調査の問診票より
行動パターンを調査

調査対象期間

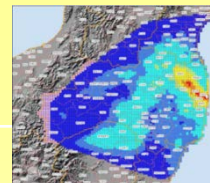
平成23年 3月11日～7月11日の4か月間

調査項目

- 滞在（場所、時間、建物の造り）
- 移動（場所、時間）

区分 月日	滞在 場所	時 刻						地名・施設名		
		0	3	6	9	12	15		18	21
記 入	屋内	①		④			④			① 自宅 ② 自宅の畑 ③ 車内 ④ 避難所
	移動	③								
例	屋外	②(80分)			⑤(120分)					

線量率マップ



SPEEDIと文部科学省データから
1日平均の実効線量率マップを作成

3月12日～14日

SPEEDIの評価結果
(実効線量率)

3月15日以降

文部科学省(当時)公表
のモニタリングデータ
(周辺線量当量率)

↓

周辺線量当量率に0.6を乗じて
実効線量率に換算

↓

2 km×2 kmのメッシュに区分け
離散データをソフトで内挿しマップ化
※自然放射線の値を含まない。

積算実効線量計算

行動パターン及び線量率マップから実効線量を評価

福島県ウェブサイト「外部被ばく線量の推計について（外部被ばく線量評価システムの概要と避難行動のモデルパターン別の外部被ばく線量の試算結果）放射線医学総合研究所」平成23年12月13日 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/6494.pdf> より作成

環境省「放射線による健康影響等に関する統一した基礎資料(平成27年度版)」第10章 健康管理